

久留米交配

# ゴーヤ

## 節成

GOYA  
FUSHINARI

久留米交配

## ゴーヤ節成

### 特性

#### ■適応作型

[ハウス]促成・半促成栽培  
[露地]早熟・夏秋栽培

#### ■雌花着生

3～9月 親蔓70%～80%以上  
子蔓90%以上  
10～2月 親蔓80%～90%以上  
子蔓95%以上

#### ■果実

・果長 250～300g重で、25～27cm  
・果形 頭から尻まで肉付きのよい円筒形果  
・果色 濃緑色で、高低温期でも白果の発生は無い

#### ■収量性

雌花着生が多く、寡日照・悪条件下でも果実肥大がよいので初期より多収

### 栽培のポイント

- ・高温性なので発芽適温もやや高く30～32℃位を確保する。
- ・子葉展開後12～15cmポットに鉢上げし、本葉4～5枚で定植する。(新土佐系南瓜に接木すると、後半までの草勢維持が容易にできる)
- ・生育適温は17～28℃位で、気温が低いと着果不良になり、曲り果の発生や肥大の緩慢を招く。
- ・雌花着生率が高い為、果実は初期草勢をつけてから着果させる方が草勢維持できる。
- ・元肥は有機物タイプの肥料を用い、肥効を長期化することで、草勢維持に努める。また追肥は液肥灌水で行い、N成分で1.5kg程度を5～7日間隔に配分して実施する。